

第4回 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

開催日時；2025 年 8 月 27 日（水）10 時～12 時

開催場所；阿佐谷地域区民センター 2 階 第 1 集会室

議事次第

1. 開会

2. 出席者紹介 （傍聴者の紹介）

3. 挨拶

4. 報告事項

（1）前回議事録 （配布資料 2）

（2）「あさがやまちづくりセッション」
第 6 回（5/18）・第 7 回（7/27） （配布資料 3）

5. 協議事項

（1）「未来ビジョンの骨子案」の検討について （配布資料 4）

（2）未来ビジョン「柱」の検討について （配布資料 5）

（3）今後の進め方（案） （配布資料 6）

（4）その他 （配布資料 7）

6. 閉会・挨拶

以上

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第3回	
日 時	2025 年（令和 7 年）4 月 30 日（水）14 時 30 分～15 時 50 分
場 所	阿佐谷地域区民センター 3 階 第 5 集会室
出席者 （会員の 所属）	阿佐谷新進会商店街振興組合、株式会社ジェイアール東日本都市開発、樺興産株式会社、社会医療法人河北医療財団、宗教法人神明宮、宗教法人世尊院、 【専門家】株式会社計画工房、【専門家】株式会社双葉、杉並区 事務局：杉並区都市整備部市街地整備課拠点整備担当（委託先：株式会社計画工房）
議 題	次第 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 挨拶 4. 報告事項 （1）前回議事録 5. 協議事項 （1）未来ビジョン骨子案のまとめ （2）今年度の進め方について （3）「あさがやまちづくりセッション」について （4）その他 6. 閉会・挨拶
配布資料	次第、第 2 回議事要録、未来ビジョン骨子案、未来ビジョンにおける 8 つの取組（骨子案）、今年度の進め方、あさがやまちづくりセッション（5/18）、あさがやまちづくりセッションニュース 1 号
報告事項	（1）議事録 ・事務局から、前回の議事録を確認した。 ・今回議事録の署名人を 2 名選んだ。 （2）第 2 回協議会の質疑について ・中杉通りの歩道橋について、4/23 に第三建設事務所と意見交換し、歩道橋について協議の申入れを行う。 ・杉並第一小学校の通学路について、今後検討したい。 ・杉並第一小学校の地域の歴史を知るコーナーの設置について、学校整備課と情報共有を行う。 ・杉並第一小学校を地域の避難所とすることは、防災課と情報共有を行う。 ・自動車の交通安全等に関する意見は土木担当部署と情報共有を行う。 （3）第 2 回協議会の骨子案についての意見は、協議事項や今後の取組のなかで検討する。
協議事項	（1）未来ビジョン骨子案のまとめ ・計画工房より、配布資料をもとに、前回の意見を踏まえて、未来ビジョン骨子案の将来像～基本方針～取組の柱について説明を行い、意見交換を行った。 【将来像について】 ・「住み続けたい、にぎわいのある魅力的なまち」に、前回の「心豊かに」の意見を踏まえて、「心豊かに暮らせる、安全・安心で魅力的なまち」を提案する。 ・両方を反映して、「心豊かに暮らせる、にぎわいのある魅力的なまち」に決まる。 【基本方針について】 以下の 3 つの基本方針のうち、3 つ目の基本方針を修正する。 ・「災害に強い安全・安心なまち」 ・「みどり豊かな阿佐ヶ谷の歴史と文化が調和したまち」 ・「にぎわいとやすらぎのある人々が集まるまち」は、「やすらぎのある人々が集まるまち」とする。 【取組の柱について】 取組の柱については、以下の通り、3 つの基本方針と関連づける。 ・「災害に強い安全・安心なまち」には、「柱 1：防災」と「柱 2：安全・安心」 ・「みどり豊かな阿佐ヶ谷の歴史と文化が調和したまち」には、「柱 3：歴史・文化」と「柱

- 4: みどり」と「柱 5: 環境づくり」
- ・「やすらぎのあるまち人々が集うまち」は、「柱 6: ウォーカブル」、「柱 7: やさしさ」、「柱 8: にぎわい」
- ・柱 2 の 3 つ目の項目は削除する。
- ・取組の柱が 8 つある。内容が似通ったものがあるので、今後検討する。
- ・「あさがやまちづくりセッション」には、この 8 つの柱で紹介する。
- ・そのほか、中杉通りの名称がいつごろからつかわれたのか質問がある
- (2) 今年度の進め方について
 - ・計画工房より、配布資料をもとに、今年度は未来ビジョンを策定すること、あさがやまちづくりセッションが 2 回開催されるので、これも考慮して検討することを説明する。
- (3) 「あさがやまちづくりセッション」について
 - ・事務局より、配布資料をもとに、5 月 18 日に開催するあさがやまちづくりセッションについて説明する。協議会からの傍聴者を依頼する。
- (4) その他
 - ・事務局より、令和 7 年度の協議会の運営に関して、協議会から国への補助金申請と委託契約について説明する。
 - ・これに伴い、銀行口座の開設と、会計は柴山氏、監査は杉並区を決める。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025 年（令和 7 年）4 月 30 日

議 長

議事録署名人

議事録署名人

報告事項 **あさがやまちづくりセッション 第6回**

□テーマ：阿佐谷北東エリアの未来ビジョン骨子案」について

□日時：令和7年5月18日（日）14時～16時

□場所：区役所第5・6会議室（西棟6階）

□参加者数：19名

□当日のプログラム

1. エリアマネジメントの概要及びエリアマネジメントに関連する制度等（内閣府）
2. 阿佐谷北東エリアの公民連携の取組みと「未来ビジョン骨子案」について（計画工房）
3. 「未来ビジョン骨子案」の「まちの将来像・基本方針・取組みの柱」の説明をもとに、取組みに関する提案の意見出し（付箋に意見を記入）
4. 意見交換（ファシリテーターが付箋の意見をもとに、参加者と意見交換）



（写真①）



（写真②）



（写真③）



（写真④）



（写真⑤）

写真の説明

写真① 内閣府からの説明の様子

写真② 参加者による意見出しの様子

写真③～⑤ 意見交換の様子

（写真③ 基本方針と柱1と柱2）

（写真④ 基本方針と柱3と柱4と柱5）

（写真⑤ 基本方針と柱6と柱7と柱8）

報告事項 あさがやまちづくりセッション 第7回

□テーマ：災害に備えて、阿佐谷のまちの“逃げ地図”を作成してみよう

□日時：令和7年7月27日（日）14時～16時

□場所：阿佐谷地域区民センター第1・2・3集会室

□参加者数：区内在住・在学の小学生4年生～6年生 28名

□当日のプログラム

1. 学ぶ ① 避難のことを知ろう（杉並区より避難方法について説明）
② 逃げ地図のつくり方（早稲田大学 創造理工学部教授 矢口哲也先生）
2. 書く 逃げ地図をつくろう（グループごとに作成）
3. 話す 気がついたことを話そう（当日の感想を、参加者それぞれが発表）



（写真①）



（写真②）



（写真③）



（写真④）



（写真⑤）

写真の説明

写真① 矢口先生からの説明の様子

写真②～③ 逃げ地図作成の様子

写真④ 参加者による感想発表の様子

写真⑤ 当日完成した逃げ地図

(案 1) 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第3回 修正資料

< 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 未来ビジョン骨子案 >

将来像

『心豊かに暮らせる、にぎわいのある魅力的なまち』

3つの
基本方針災害に強い
安全・安心なまちみどり豊かな
阿佐谷の歴史と文化が
調和したまちやすらぎのある
人々が集うまち8つの
取組の柱「柱1:防災」
災害に強い
防災活動拠点をつくる「柱3:歴史・文化」
地域の特性を活かした
歴史が感じられるまちをつくる「柱6:ウォーカブル」
公共的空間を活かして
歩いて楽しいまちをつくる「柱2:安全・安心」
だれもが安全・安心に
過ごせるまちをつくる「柱4:みどり」
豊かなみどりを守り育み
未来に継承していく「柱7:やさしさ」
快適でやさしさのある
まちをつくる「柱5:環境づくり」
グリーンインフラ等を推進して
持続可能なまちをつくる「柱8:にぎわい」
人々が交わり
くつろぎ賑わう空間をつくる

(案 2) 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第3回 修正資料

< 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 未来ビジョン骨子案 >

将来像

『心豊かに暮らせる、にぎわいのある魅力的なまち』

3つの
基本方針災害に強い
安全・安心なまちみどり豊かな
阿佐谷の歴史と文化が
調和したまちやすらぎのある
人々が集うまち6つの
取組の柱「柱1:防災」
災害に強い
防災活動拠点をつくる「柱3:歴史・文化」
地域の特性を活かした
歴史が感じられるまちをつくる「柱5:ウォーカブル」
快適でやさしさのある
歩いて楽しいまちをつくる「柱2:安全・安心」
だれもが安全・安心に
過ごせるまちをつくる「柱4:みどりと環境づくり」
豊かなみどりを守り育み
持続可能なまちをつくる「柱6:にぎわい」
人々が交わり
くつろぎ賑わう空間をつくる

柱Ⅰ：防災

災害に強い防災活動拠点をつくる

考え方1 防災活動の拠点を形成し、エリア全体の結束を強化し防災性を向上させる

取組（案） ・ 杉一小学校（震災救援所）、病院（東京都災害連携病院）と
地区内の民間施設等の連携した協議の場をつくる など

写真・イラストなど

考え方2 防災情報を地域で共有する手法や自助共助による防災活動を展開する

取組（案） ・ 当エリアを含めた周辺地区と馬橋公園（災害時一時避難地）
との関係を考慮した地区防災計画の策定検討
・ 地区町会連合会主催の防災訓練との連携
・ 初期消火の対策の検討（スタンドパイプ設置と訓練、防災マップ等）
・ 防災の勉強会の実施 など

写真・イラストなど

考え方3 ハザードマップの浸水予想区域における具体的な水害対策を検討する

取組（案） ・ 基準値以上の貯水槽の設置、
・ 雨水流出対策
・ 浸水対策は広範囲で検討 など

写真・イラストなど

考え方4 災害時に物資・人員の迅速な輸送を可能とする一般緊急輸送道路の安全性を
確保する

取組（案） ・ 中杉通りの耐震化促進 など

写真・イラストなど

柱1：防災 災害に強い防災活動拠点をつくる

配布資料5

「あさがやまちづくりセッション」第6回の付箋意見		反映先	区 取組アリ	その他意見	備考
1	防災に関連したテーマの意見交換会をもっと行っていく	柱1の考え方1 ⇒防災活動拠点 柱1の考え方2 ⇒地区防災計画			
2	防災「活動」拠点の具体化に期待、例えば震災後断絶したインフラのバックアップ等				
3	日常利用できる防災拠点。人々が集まる工夫（小学校内、病院内）防災地区は日常利用				
4	雨庭の設置	柱4			
5	防災センターの設置		○		
6	帰宅困難者の対応も必要		○		
7	1号、3号道路違法駐車対策。緊急車両最優先			○	
8	災害でREDZONE！→中杉通り沿道地区はハコなし。避難できるスペースに			○	
9	災害時には神明宮も避難者を受け入れてほしい			○	
10	災害時河北病院の患者は病院外に避難するのか？			○	
11	道路の実現性2、3号のみ。特に統合が必要では？			○	
12	そもそも区公表の震度分布図がでたらめ			○	

柱2：安全・安心

だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

考え方1 歩行者や自転車利用者の安全性を確保し、安心して利用できる交通環境の創出を図る

- 取組（案）**
- ・ 中杉通りにおけるパーキングメーターの代替駐車場を設置、
 - ・ 杉並区自転車活用推進計画の自転車ネットワーク路線に準ずる整備の検討
 - ・ 違法駐輪の対策の検討 など

写真・イラストなど

考え方2 通学する児童や病院の利用者などが、安心・安全にみちを利用できる交通ルールを整備する

- 取組（案）**
- ・ 当エリア内の車の最高制限速度を20km/hにする
 - ・ 新進会商店街通りの交差点の安全対策の検討（交通量の実態調査等） など

写真・イラストなど

考え方3 エリア内の歩道状空地の整備・管理に関する共通ルールを検討し、安全性の向上を図る

- 取組（案）**
- ・ 舗装デザインの統一、
 - ・ 維持管理・修繕方法の検討 など

写真・イラストなど

考え方4 みんなが安全・安心して暮らせるように防犯面の取組みを行う

- 取組（案）**
- ・ まちの防犯診断と対策の検討（夜間の照明、防犯カメラ設置、公園の見守り等） など

写真・イラストなど

柱2：安全・安心 だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

配布資料5

「あさがやまちづくりセッション」第6回の付箋意見		反映先	区 取組アリ	その他意見	備考
13	車、自転車、人がそれぞれ通る場所がわかりやすい道にしてほしい。（現在の駅前道路は信号無視が多い）	柱2の考え方1 ⇒歩車の分離 ⇒自転車対策			
14	神明宮より先の歩道も自転車が危ないので、今回の区域で人、車道が分離できる作りの実現を				
15	拡幅する街路で通行する自転車がスピードを出さないような工夫がほしい				
16	大地下駐輪場入口は駅から遠く（高井戸ゴミ処理場的）（ゴミ収集車と出くわさないように工夫されている。駐輪場のゾーニングが必要）				
17	救急車はどう動く？通学路の安全は？	柱2の考え方2 ⇒通院者の動線 ⇒救急車は区画道路1号			
18	河北病院へ出入りする車両の動線は？				
19	河北病院の通院する人の動きは？				
20	やさしい日本語のサイン（案内板）を増やしてく	柱5			
21	この未来ビジョンを阿佐谷全体に活用できるようにしてはいかが？	未来ビジョンの構成の「目的」などで説明			
22	阿佐谷北にいと区役所が遠すぎる。出張所で良いので設置を			○	
23	ハザードマップの浸水域に小学校を移転するのはなにごと！			○	
24	1号道路が広くなったら北側に高いマンションができる？			○	
25	やはり、沼地、医療汚染が懸念されるところに、小学校はやめたいね。			○	

(3)今後の進め方について

配布資料6

